

各 位

上場会社	菊水電子工業株式会社
代表者	代表取締役社長 小林 一夫
(コード番号)	6912)
問合せ責任者	常務取締役管理本部長 齋藤 士郎
(TEL)	045-482-6912)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年10月27日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表した業績予想及び2021年5月14日付「2021年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表した配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	9,174	900	951	652	78.43
今 回 修 正 予 測 (B)	9,980	1,070	1,120	740	88.87
増 減 額 (B - A)	805	169	168	87	
増 減 率 (%)	8.8	18.8	17.7	13.4	
(参 考) 前 期 実 績 (2 0 2 1 年 3 月 期)	8,163	418	460	325	39.18

修正の理由

売上高は、新型コロナウイルス感染症再拡大への懸念と世界的に長期化する半導体や工業製品の部品等の需給逼迫等により生産活動への影響を受けていたことから、通期の業績予想を据え置いておりましたが、受注環境は好調に推移しており、米国、中国を中心とした海外売上高の大幅な増収並びに部品調達活動にも努力を重ねていることから、前回予想を上回る見込みとなりました。

利益面につきましては、部品調達価格等仕入コストの上昇や売上高の増収により輸出輸送費等販売費の増加はあったものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回予想を上回る見込みとなりました。

以上の理由から、2021年10月27日に公表いたしました通期業績予想を修正するものであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前 回 予 想	—	23.00	23.00
今 回 修 正 予 想	—	30.00	30.00
当 期 実 績	0.00		
(参 考) 前 期 実 績 (2 0 2 1 年 3 月 期)	0.00	20.00	20.00

修正の理由

当社の利益配当は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付けており業績に対応した配当を行うことを基本としつつ、企業体質の強化と今後の事業展開を勘案し、内部留保にも意を用い、決定する方針をとっております。

2022年3月期の期末配当につきましては、業績予想の修正に記載しましたとおり、前回予想より利益が増加する見込みとなったことを勘案し、1株につき23円から7円増配の30円に修正いたします。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

以上